

平成23年度

専門委員会だより

専 門 委 員 会 だ よ り

vol. 3

第2回 専門委員会総会を開催

平成24年3月15日（木）

神戸市総合教育センター 10階ホール 9時45分～12時30分



専門委員会活動発表・講演会
として今年度は開催いたしました。

3月15日(木)、神戸市総合教育センターで行われた平成23年度第2回専門委員会総会をもって、今年度の専門委員会活動も終焉を迎えます。

今年度は、専門委員長同士で話し合い新しい形の総会に挑戦してみました。今年度の会の趣旨を

1. 当初からある根本的な目的は変えず、各連合会会長へ向けて、専門委員会の一年間の活動報告を行うこととする。
2. 専門委員以外の、単位PTA役員や、次年度専門委員会にかかわる方へ、一年間の成果を伝えることと、委員会のPRとなるような内容。
3. 専門委員が自ら発表し、ステージに立つことで、やりがいと達成感を感じていただく。
4. 一般参加者には、講演会を抱き合わせ、プラスアルファな部分を出し、講師も大人のスキルアップとやる気、元気の出る内容をお話していただける方を選定する。
5. 専門委員長が企画運営し、自主的な専門委員会活動の締めくくりとする。

として、詳細を詰めていきました。

内容については、第1部は活動発表会、第2部は講演会を行うこととしました。2~3月の各専門委員会会議で話し合って決め、発表の持ち時間は1専門委員会につき8分を厳守し、メドレー式に紹介しながら順に発表していくこととなりました。会場の席割は前方に委員会毎に固まって座り、一般参加PTAは、後方に座るようにしました。

講師は神戸出身の、有限会社シンプルタスク、代表取締役、吉井 雅之(よしい まさし)氏。演題は、「コレきいて元気にならん奴はおらんやろ！」に決まりました。

全体的な内容は、何度か専門委員長会議で打ち合わせを行い、それぞれの委員会の発表については情報交換しながら、初めての試みということで予想もつかない中すすめていきました。

各専門委員会では、2、3月の会議で総会の内容について話し合いました。

どの委員会でもこの話し合いが一年の中で一番盛り上がったのではないのでしょうか、一年の活動を振り返る良い機会にもなり、委員会への思いや感想を語りながら、話が膨らみ、テーマ毎での発表や、劇仕立てにしたり、映像を使ったり、看板を手作りしたり…と、委員会の個性あふれる発表内容を、楽しみながら決めていきました。

総会に向けた活動を通じ、一層、委員同士のつながりが強くなりました。

各委員会の準備も整い、当日は朝早くから集ま

り、それぞれで発表のために、リハーサルや打ち合わせを行いました。

第1部 活動発表

組織・運営専門委員会

今年度の最初に PTA 活動の上で忘れてはいけないとても大切な事だと考え、年間テーマを

「助け合い、支え合い、お互い感謝し合える仲間になろう」と決めました。それぞれの単Pが活動する中で、困ったことや悩んでいる事などを持ち寄りました。



主な内容は

- ① PTA活動は参加すれば楽しいものなのに、大変そうだ等と思われ、避けられるのは何故か？
- ② 単P・区P等での連絡方法はどのようにしているのか？
- ③ PTA が主となって行っている行事はどんなものがあるのか？
- ④ PTA 役員の選出方法はどのようにしているのか？

校種の違い・地域性・学校の規模という単Pの環境の違いを意識しながら進める中、その違いを超え全ての学校園共通の悩みとして取り上げられた課題が「本部役員の選出方法」でした。

様々な話し合いから、各校が抱える課題解決のヒントや、活性化を図るチャンスをいただいたと思っています。どの PTA 活動にもゴールがあるわけでもなく、これが正しいという答えがあるわけでもありません。今回の委員会活動を通して「子どもたちの為に」という原点を忘れずに進化し続けるPTA活動でありたいと感じました。

研修専門委員会

研修専門委員会の年間テーマは「この日本に元氣発信！」です。東日本大震災で沈みがちな雰囲気や吹きとばし、皆に元気を出してもらえようという研修会を企画しようという声上がり、決定しました。

1月に行われた「5校種合同研修会」について

は、まずテーマ決めから講師選定、合同研修会の内容を再現し、次に、元気が出る「PTAカレー」については、完成に至るまでの、ミニ食育研修「PTAカレーを作ろう」での様子や、レシピや効能を楽しく紹介をしました。



広報専門委員会

広報専門委員会では、市P協機関紙「PTA神戸103、104号完成！」に至るまでの編集会議の様子を寸劇仕立てで発表しました。様々な苦労を重ねて、各々が忙しい中、時間を割き、責任を持って作り上げた広報紙は、自分の分身のように大切な宝物だと思えます。



それ以上に委員さん同士築き上げたつながりが何物にも代えがたいものとなりました。

健全育成専門委員会

健全育成専門委員会では、この一年、今年度の市P協の掲げる「食育」「消費者教育」と子どもを取り巻く環境を見て、今子どもの考えていることを知りたいという思いでそれぞれ話し合い「子どもに聞きたいことアンケート」へ至ったことや、一年間の会議に参加することで得られたものや、

思いを

「一斉メールはBCCで、TOはX」
「食事中にたのしく会話してますか？」
「ありがとうはみんなが嬉しくなる魔法の言葉」という3つのキーワードを挙げて報告しました。「子どもを見ているだけでも癒された」という委員さんの声もあり、いつも、子ども連れで来ていた委員さんには、この日もお子さんを抱いてステージにあがってもらいました。「同じ立場で話をするのができ、ここへ来るのが楽しみだった」という感想も、報告にあがりました。



家庭教育専門委員会

「共育（親と子が一緒に育つ）」を今年度の大きなテーマとして掲げ、毎回小さなテーマについて会議で話し合ったことを順に発表しました。親子、夫婦、家族での会話について、委員さんの実態調査には、参加者もうなずいておられました。ミニ研修も開き、地域で子育てをする大切さを再確認した「動物の子育て」について、また我が家の自慢レシピを紹介して「食育」について話し合ったことなどを、スクリーンで紹介しました。



第2部 講演会

「コレ聞いてげんきにならん奴はおらんやろ！」

講師の吉井氏はナニワのメンター「ナニメンさん」の呼び名で通っており、主に企業経営者や教師を対象に、習慣形成トレーニングや、メンタルセミナー、トレーニングなどを行っておられます。

神戸ご出身ということで、今日神戸で講演されることを楽しみにされておられました。



今回は、耳に入れた言葉を瞬時に出力する(答えを出す)高い能力を我々は持っており、それは何度も繰り返し体験する事で培われていくものであり、良いことを刷り込めば、素晴らしい成果を生む。という「子育て」の基本を、まず、お話しされました。

子どもの行動を指摘する前に、まず親の自分ができているか考える。子どもの夢を否定しない。そして生活全てにおいて、「当たり前」という気持ちを持つ。ありがたいの反対は「当たり前」。

毎日の平安な日常が「当たり前」と思っていない。マイナスの言葉を他人に向けて使うことは自分へのマイナスとなる。

反対にプラスの言葉を他人に向けて使うと、自分も輝いてくる。など、テンポよく、ご自身の体験を面白く交えながらのお話に、会場も大いに沸きました。



最後に「妻子を残し病気で亡

くなった先輩の話」「子どもの節目に見せてほしい」と、ビデオを残して亡くなった母親の話」「PTA会長だった父親と娘の話」を3つ、ロールアップで流しました、実話を基に、親子の触れ合いや絆を描いたエピソードに、会場も胸を熱くしました。

次年度、専門委員会への参加が楽しみになるような委員会活動発表と、参加されたPTAの皆さんが、元気を持って帰っていただけるような内容の、笑いも涙もありの講演会を組み合わせ、今年度の新しい形の専門委員会総会が終了しました。

専門委員長・副委員長会議の開催

3月26日(月)18:30~

総合教育センター

3月15日の第2回専門委員会総会の終了後、第5回専門委員長会議を開催しました。今回は、委員長だけでなく、副委員長も参加していただきました。

参加された皆さん(敬称略) 下線は委員長

組織・運営	<u>又野</u> (西脇小) 海崎 (本山南中)
研修	<u>松田</u> (泉台小) 山野 (東落合中)
広報	<u>佐野</u> (桜が丘中) 谷脇 (遊喜幼) 立岩 (明親小)
健全育成	<u>加地</u> (高津橋小) 二俣 (港島中) 井関 (名谷きぼうの丘幼)
家庭教育	<u>川嶋</u> (原田中) 吉岡 (神港高)

まず、3月15日の総会について、意見交換を行いました。委員それぞれの考えや印象をまとめると次のようになりました。

- ・各専門委員会総会の発表方法、手順、持ち時間等について。発表方法は各委員会で工夫され、時間も適当だった。これ以上長いと聞く方も発表する方もしんどいのではないかと。入れ替わりの手順もリハーサルを行い、本番はスムーズにできた。



- ・ 講演会の講師、時間等について。講師を選ぶにあたり、大きなコンセプトが、「参加された方が聞いて得するような、元気になる講演会」で、それに沿った講師選びを委員長会で、相談しながら決めた。講演時間は 70 分で良かったが、講演内容の受け止め方は人それぞれで、すべての人が満足できるものは難しい。
- ・ 単 P 参加にしたことなどについては、委員の満足感、達成感をさらに盛り上げた。委員会の内容を相互に知ることもできた。単 P、区 P で、次期専門委員会に興味をもってもらえるような申し送りが期待できそうな手応えもあった。「専門委員会に参加してみたいと思った」という感想を頂いて嬉しかった。
- ・ 各委員会で、今回の総会の発表内容についての直前の会議は、いずれも充実した内容となった。
- ・ 次年度も同様に行っても良いのではないかな。



続いて、専門委員会の今後について、どう進めたいか、今年度の活動を振り返りながら意見を出し、以下のようにまとめました。

- ・ 第 1 回目の総会前に、システム的な内容について各専門委員会同士で引き継ぐ、新旧正副専門委員長引継ぎ会の開催があり、正副委員長が、事前に何をすればよいか分かり、良かったと思う。
- ・ 新年度の委員長にとって、市 P 協の中での専門委員会の組織的な位置づけや、委員会そのものの意味は、分かりにくいかもしれない。引継ぎでは、委員会の雰囲気や伝えたい。また毎回の各委員会で、正副のコミュニケーションや相

談、提案、打ち合わせがあるとスムーズに会が進むというアドバイスもしたい。



- ・ 「専門委員長会」を今年度は、打ち合わせも含め、自主的に 5 回行った。横のつながりと情報交換ができ、連携が取れたのでよかった。ただし委員長だけで盛り上がってしまいがちなので、話し合う内容については、正副で開催してはどうか。
- ・ 会議の内容も成果も大事であるが、無理に進めるのではなく、知り合い作り、異校種交流、悩みを話せる場所であると割り切って考えても良いのではないかな。
- ・ 昨年度の「新専門委員会あり方検討会」からの「新しい専門委員会のあり方についての提案書」のシステム的なスケジュール案を積極的に受け入れ、実践した結果、各委員会とも活気ある会となり、良い成果を上げたと思う。24 年度の専門委員会総会へも、更なる委員会の活性化をめざした提案をしたい。



 **神戸市PTA協議会**

〒650-0044

神戸市中央区東川崎町1-3-2

神戸市総合教育センター内

TEL(078)360-3453